

学校教育目標	知識・技能		思考・判断・表現		学びに向かう力・人間性等		
	理解力	生活力	分析力	表現力	関心力	受容力	向上力
科目で育成する 資質・能力	・情報及び情報技術を活用するための知識と技能を理解することができる。	・社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解し活用できる。	・情報モラルを踏まえた情報や情報手段を適切に取り扱う判断ができる。	・情報モラルを踏まえた情報や情報手段を適切に活用し、表現する事ができる。	・情報や情報社会に関心を持ち授業に臨むことができる。	・問題を解決するために他者の意見も尊重し、対応することができる。	・自ら進んで情報及び情報技術を活用し、主体的に対応することができる。
評価の観点 の趣旨	・情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身につけている。 ・目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。		・情報に関する科学的な見方や考え方を活かし、情報モラルを踏まえた考察を深めている。 ・情報モラルを踏まえた上で、適切に判断し表現している。		・学びに対しての真摯に向き合う態度が終始みられるか。		
評価の方法	課題提出物 小テスト 定期考査	課題提出物 小テスト	課題提出物 小テスト 定期考査	課題提出物 小テスト 定期考査	・『観察等』授業の取り組み方（真剣に学びに向かう態度であるか）		

年間計画

単元		学習内容	配当時数	特に重視する資質・能力	評価の観点と規準
情報社会の問題解決	情報とメディア	情報と情報技術を活用した問題の発見・解決の方法に着目し、情報社会の問題を発見・解決する知識や技術、思考力、判断力、表現力等を身に付ける。	15	【関心力・受容力・向上力】 ・理解し習得とくしたことをもとに主体的に学ぶ事ができるようになる。 ・メディアリテラシーの意識を持ち、情報を取り扱う事を意識し活用できるようになる。 【分析力・表現力】 ・適切な問題解決のプロセスに沿った解決ができるようになる。 ・情報の特徴やメディアの種類や構成について考え、状況に応じて適切なメディアを選択し活用できるようになる。 ・情報モラルを考えての情報技術の適切な活用ができるようになる。 【理解力・生活力】 ・情報モラルを考えての情報社会の法規や制度について理解し。活用することができる。 ・情報セキュリティについて理解し、対策のための技術を活用することができる。	【学びに向かう力・人間性等】 ・理解し習得する意識を持ち授業に意欲を持って参加している。 ・メディアリテラシーの意識を持ち、情報を取り扱う事を意識し取り組むことができる。 【思考・判断・表現】 ・適切な問題解決のプロセスに沿った解決法ができている。 ・情報の特徴やメディアの種類や構成について考え、状況に応じて適切なメディアを選択できる。 ・情報モラルを考えての情報技術の適切な活用ができる。 【知識・技能】 ・情報モラルを考えての情報社会の法規や制度について理解している。 ・情報セキュリティについて理解し、対策のための技術がある。
	情報社会における法とセキュリティ				
	情報技術が社会に及ぼす影響				
コミュニケーションと情報デザイン	情報のデジタル表現	メディアとコミュニケーション手段及び情報デザインに着目し、目的や状況に応じて受け手に分かりやすく情報を伝える知識や技術、思考力、判断力、表現力等を身に付ける。	20	【関心力・受容力・向上力】 ・理解し習得とくしたことをもとに主体的に学ぶ事ができるようになる。 【理解力・生活力】 ・アナログとデジタルの概念とその相違を理解し活用することができる。 ・情報のデジタルに関する知識を理解し、使用する基本的な考え方を持ち活用することができる。 ・情報機器の特徴を踏まえ。適切なハードウェアやソフトウェアを使用し表現ができるようになる。 【分析力・表現力】 ・コミュニケーションの歴史的進化とメディアの性質を理解したうえで、最適でかつ他者が理解しやすい発信の思考と技術の習得を活かし発信することができるようになる。	【学びに向かう力・人間性等】 ・理解し習得する意識を持ち授業に意欲を持って参加している。 【知識・技能】 ・アナログとデジタルの概念とその相違を理解している。 ・情報のデジタルに関する知識を理解し、使用する基本的な考え方ができている。 ・情報機器の特徴を踏まえ。適切なハードウェアやソフトウェアを使用し表現ができる。 【思考・判断・表現】 ・コミュニケーションの歴史的進化とメディアの性質を理解したうえで、最適でかつ他者が理解しやすい発信の思考と技術の習得ができています。
	コミュニケーション手段の発展と特徴				
	情報デザイン				
	プレゼンテーション				
コンピュータとプログラミング	コンピュータのしくみ	コンピュータで情報が処理される仕組みに着目し、プログラミングやシミュレーションによって問題を発見・解決する知識や技術、思考力、判断力、表現力等を身に付ける。	20	【関心力・受容力・向上力】 ・理解し習得とくしたことをもとに主体的に学ぶ事ができるようになる。 【理解力・生活力】 ・コンピュータのハードウェアとソフトウェアの仕組みを理解し活用できるようになる。 ・アルゴリズムの考え方を元に思考し、基本的なプログラムを作成できるようになる。 【分析力・表現力】 ・モデル化の考え方を元に問題の明確化、要素の分析、モデル化し、シュミレーションを作成することができるようになる。	【学びに向かう力・人間性等】 ・理解し習得する意識を持ち授業に意欲を持って参加している。 【知識・技能】 ・コンピュータのハードウェアとソフトウェアの仕組みを理解している。 ・アルゴリズムの考え方を元に思考し、最適なプログラムを作成できる。 【思考・判断・表現】 ・モデル化の考え方を元に問題の明確化、要素の分析、モデル化し、シュミレーションを作成することができる。
	プログラミング				
	モデル化とシミュレーション				
情報通信ネットワークとデータの活用	ネットワークのしくみ	情報通信ネットワークを介して流通するデータと表計算ソフトで作成したデータに着目し、情報通信ネットワークや情報システムにより提供されるサービスと表計算で作成されたデータを活用し、問題を発見・解決する知識や技術、思考力、判断力、表現力等を身に付ける。	15	【関心力・受容力・向上力】 ・理解し習得とくしたことをもとに主体的に学ぶ事ができるようになる。 【理解力・生活力】 ・インターネット等の仕組や表計算ソフト使用法を理解し活用することができるようになる。 ・インターネットでの各種サービス等の仕組みや表計算ソフトでのデータベースとの共有を理解し活用することができるようになる。 ・技術の進歩によるメリット・デメリットの両側面を考えながら、目的に応じて・適切にインターネットのサービスを活用することができるようになる。 ・情報セキュリティ技術を理解しインターネット等を活用することができるようになる。 【分析力・表現力】 ・インターネットの特性や仕組み、サービスを理解し、コミュニケーションツールを利用する際のルールとマナーを守り活用することができるようになる。 ・表計算ソフトの特性やデータベースの仕組みや知識を理解し、明瞭な資料作成ができ適切な分析することができるようになる。	【学びに向かう力・人間性等】 ・理解し習得する意識を持ち授業に意欲を持って参加している。 【知識・技能】 ・インターネット等の仕組や表計算ソフト使用法を理解している。 ・インターネットでの各種サービス等の仕組みや表計算ソフトでのデータベースとの共有を理解し活用することができる。 ・技術の進歩によるメリット・デメリットの両側面を考えながら、目的に応じて・適切にインターネットのサービスを使用することができる。 ・情報セキュリティ技術を理解しインターネット等を使用することができる。 【思考・判断・表現】 ・インターネットの特性や仕組み、サービスを理解し、コミュニケーションツールを利用する際のルールとマナーを守り活用することができる。 ・表計算ソフトの特性やデータベースの仕組みや知識を理解し、明瞭な資料作成ができ適切な分析することが可能である。
	表計算ソフトとデータベース				
	データの分析				